

入曽地区中学校統廃合説明会報告

【対象：入間中学校保護者】

- 1 開催日時
平成 25 年 5 月 18 日（土） 午後 2 時～午後 5 時
- 2 開催場所
入間中学校 4 階音楽室
- 3 参加人数
20 人
- 4 市職員（計 6 名）
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校教育部参事兼教育指導課長、学務課長、
学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主査
- 5 配布資料
 - ◆ 入曽地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について
 - ◆ 統合後の生徒数・学級数推計表
 - ◆ 統合後の通学区域図

————— 主な質疑応答及び意見要望 —————

検討協議会に関すること

- Q 今後の検討協議会では、どのような事を協議するのか。
- A 制服の件や自転車通学を含めた通学路の件、統合校の環境整備の件などについて協議したいと考えており、次回の会議では、統廃合計画の策定に向けた提言書の素案を提示する予定です。
- Q 提言書には、どのような内容が盛り込まれるのか。
- A 現在まで合意いただいた統廃合の対象校、学区及び統合の時期に加えて、環境整備に関することなどを盛り込みたいと考えています。
- Q 統合で部員の数が増えることで、例えば統合先の学校のテニスコートは現状のまま
で足りるのかとか、そういった事も含め、統廃合に関する事は全て検討協議会の場で
決めるということなのか。
- A 全て検討協議会に諮って決めるということではなく、教育委員会と学校レベルの話
し合いのなかでまとめていく案件もあります。

- ◆ 皆さんから意見を吸い上げたうえで委員として検討協議会に臨みたいと思っているので、議論すべき事柄などは、もっと早く事前に周知してほしい。
- ◆ 検討協議会の委員さんにも、こういった保護者説明会の場に来てもらいたいし、保護者の生の声をぜひ聴いてほしい。
- ◆ 検討協議会の場で何か意見を言っても、他の委員さんから、入間中は我がままだとか、子どもに前向きに話をしないからだなどと言われるが、入間中の保護者の多くが感じている声であることをもっと解かってほしい。
- ◆ 今の子ども達のことを知らない委員さんもいる検討協議会で、制服や通学路のことを決めてしまうことに違和感を覚える。
- ◆ 提言書は、検討協議会の委員さんの意見だけを以ってとりまとめるのではなく、保護者の意見が広く反映されたものであるべきだ。
- ◆ 教育委員会は、入間中の保護者が抱えている思いというものを、もっと検討協議会の場でしっかり伝えてほしい。
- ◆ 教育委員会は、検討協議会の場において、もっと保護者の意見が反映されるような方向で協議を進めていってほしい。
- ◆ 入間中は廃校になるのだから、それをプラスの方向で考えていくためにも、当事者である保護者の意見はもっと尊重されるべきだと思う。
- ◆ 入間中は長い歴史のある学校だが、母校がなくなることになる人達に対するケアについても検討した方がいいと思う。
- ◆ 検討協議会が開かれていること自体知らない保護者も多いので、傍聴ができることも含めて、ホームページだけではなく、それ以外の形でも周知してほしい。

学区や通学路に関すること

Q 線路を渡って通学するのは危険と思われるが、線路の東側区域を現在の南小学校区から山王小学校区に変える予定はあるのか。

A 当面その予定はありません。

Q 線路東側の区域は、入間小に通った経験のない子どもでも学校を選べるということか。

A 当該区域の特別許可地区の設定については、対象者や期限を限定することは考えていませんので、入間小に通った経験のない子どもでも学校を選べる形になります。

Q 線路東側の区域に住む子どもは何人くらいいるのか。

A 一学年あたり十数人から二十数人程度です。

Q せめて学年の途中で学校を変わらざるを得ない入間中の生徒については、住んでいる区域にかかわらず、全員山王中か入間野中かを選べるようにしてほしいし、それは心のケアの観点からも重要だと思う。

A それにつきましては、検討協議会で検討させていただきたいと思います。

統合の時期に関すること

Q 平成 27 年 4 月という統合の時期は、入間野中の生徒数がピークになる時期と重なるので、入間野中の教室数に余裕がなくなり、少人数指導教室等の確保も難しくなるのではないかと。

A 少人数指導の実施にあたっては、普通教室規模の大きさでなくても、特別教室をパーテーション等で区切るなどして対応することも可能と考えています。

Q 統合の時期は平成 27 年 4 月とのことだが、本来は、保護者から意見を聴いたうえで、統合までにやらなければならないことを決めて、それらを実施するためには、これだけの期間を要するということが計画立てられた時点で初めて、統合の時期は決まるのではないかと。

A まずは統合の時期を決めることで目標を明確にし、平成 27 年 4 月に向けて計画的に準備をしていきたいというのが教育委員会としての考え方です。

制服に関すること

Q 来年 4 月に入間中に入学する生徒は、山王中もしくは入間野中の制服を購入することもありうるのか。

A 制服の扱いについては、今後、保護者の意向も踏まえたうえで決めていきたいと考えています。

Q 山王中もしくは入間野中を卒業した人が着ていた制服のお下がりをもたらえるようなシステムは考えているのか。

A そういったことも課題の解決策の一つとして考えられると思います。

Q 統合校で制服がまちまちではおかしいので、市の予算ですべて買いそろえてほしい。

A 財政的に難しい面があるのは事実ですが、検討協議会でそのような提言が出された場合は、予算の獲得に向けて努力します。

- ◆ 来年入間中に入学する生徒の制服の扱いすら未だ決まってないなんておかしいと思うし、取り扱っている業者さんも困ると思う。
- ◆ 保護者の目線が欠けている検討協議会の場で制服の事を決めるのは、正直不安だ。

- ◆ 制服は3年間着るという前提で購入しているのですが、また新たに負担して購入せざるを得ないようなことがあっては困る。
- ◆ 制服だけでなく、部活のユニフォームをどうするかについても検討してもらう必要がある。
- ◆ 学校のトイレ改修よりも、制服や部活のユニフォームの購入費に予算を投じてほしいと望む保護者だっていると思う。
- ◆ 教育委員会には、制服は市の予算ですべて買いそろえるくらいの姿勢や気概を示してほしい。
- ◆ 学区変更に伴って中3の時に山王中から入間中に移った経験があるが、制服はそのままでもいいとのことだったが、女子のほとんどは買い替えたというのが現実で、買えなかった子が目立ってしまって可哀そうだった。

情報の周知やアンケートに関すること

Q 保護者の意見は今後どのような形で提言書に反映されるのか。

A 今後アンケートを実施することにより、保護者の皆様の意見要望を吸い上げていきたいと考えています。

Q 早く保護者アンケートを実施してもらい、その結果を踏まえて検討協議会で議論しなければ、保護者の意見が反映された提言書にはならないと思う。

A 保護者アンケートは一学期中には実施したいと考えています。

Q 他の保護者がどう考えているかも知りたいので、アンケートの結果はすべてホームページに開示してほしい。

A 結果がまとまり次第、ホームページに掲載する予定です。

Q 南小に設置されている統廃合に関する意見箱のようなものを、入間中にも置いてほしい。

A 入間中にも意見箱を設置します。

Q 意見箱を山王中と入間野中にも置く予定は…。

A 山王中と入間野中に置く予定はありませんが、今後両校で実施する説明会のなかで、保護者の意見等を吸い上げていきたいと考えています。

Q 課題項目を洗い出しただけで何も決まっていけないのでは、保護者は不安に感じるだけなので、統合までの具体的な段取りやスケジュールを早く示してほしい。

A 次回の検討協議会で提示したいと考えています。

- ◆ 具体的なことが何も決まっていない状況に不安を感じている保護者も多いと思うので、どういう場で、どういったスケジュールで保護者の意見を吸い上げてくれるのかといったことは、決まり次第知らせてほしい。
- ◆ 情報開示だけでなく、このような意見交換の場も随時設けてほしい。
- ◆ 意見箱に寄せられた保護者の声も知りたい。
- ◆ 学校間の調整・協議の場でも、意見箱などに寄せられた保護者の意見や要望が反映されるようにしてほしい。
- ◆ 学校は避難所でもあるので、地域の方々への説明も今後必要だと思う。

その他

- Q 統合の時期を決めてから現在に至るまで、何も動きがないようだが…。
- A 3校の中学校関係者を交えた統合に向けた協議を進めており、今後も必要に応じて調整の場を設ける予定です。
- Q 入間中が平成27年3月に廃校になることが市議会にかけて正式に決まるのは、いつなのか。
- A 来年の3月議会にかける予定です。
- Q 予算をつけてもらうためには、いつ頃までに要望しなければならないのか。
- A 平成26年度に向けた予算編成は今年の10月頃から始まりますが、統合する平成27年度以降においても、必要に応じて予算づけはしていきたいと考えています。
- Q 予算がないからできないと言われる可能性もあるのか。
- A 統廃合に関する予算については、財政部局に強く申し入れをし、必要な予算を獲得できるよう努めていきます。
- Q 統合後の精神的なケアなどソフト面の対策は、議会で正式に決まってからでないと動けないものなのか。
- A 今からでも検討することは可能ですし、そのために学校同士で集まって話し合いをしています。
- Q 中1の子を現在抱えているが、中3になった時の統合先の学校での修学旅行は、お互い気心の知れない者同士で行くことになるのか。
- A 修学旅行は1学期中に実施する予定ですが、いずれにしましても、事前交流を密に行うなどして、子ども達のソフトランディングに向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

Q 狭山市の教育を魅力あるものにすべく、子ども達の人数が今後減っていかないように、教育委員会として考えていることは…。

A 狭山市教育振興基本計画に示しているとおり、学力の向上や道徳心の育成などを目的とした諸施策を展開しています。

Q 入間中廃校後の跡地は何になるのか。

A まだ決まっていません。

- ◆ 統合校で1年間だけ過ごすのと2年間過ごすのでは大きな違いがあると思うので、統合校においてクラス編制を行う際には、そういう点にも留意してほしい。
- ◆ 事前交流は、行事だけでなく部活単位でも実施してほしい。
- ◆ 入間小で統廃合を経験したばかりなのに、ここでまた…?!という保護者の抱く感情的な思いは大きい。
- ◆ 入間中の保護者は皆、できることなら子どもをこのまま入間中で卒業させてあげたいと思っているはずで、そういう気持ちをもっと酌んでほしい。
- ◆ 表立ってはいないにしろ、入間小の時も皆いろいろあったわけで、ただ事務的に運営面だけをとらえて、統廃合すればより良い教育環境が実現するなど簡単に言わないでほしい。
- ◆ 議会で入間小の統廃合は成功だったといった趣旨の答弁をしていたが、入間小側も受け入れ側も、実際かなりのストレスを感じながら進めていたのは事実で、「統廃合して良かった」の一言で済ませてほしくない。
- ◆ 精神面のケアについては、きめ細かく対応してほしい。
- ◆ 統廃合の責任は市にあるはずで、子どもが環境の変化に対応できなくても、それは親のせいではない。
- ◆ 地域の人が喜ぶような施設を入間中の跡地に建ててもらえれば、もう少し前向きに統廃合のことを考えられる。
- ◆ 一人暮らしの高齢者が多く住む地区なので、入間中廃校後の避難所をどうするかについても十分検討してほしい。